



2021. 1

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

新しい年を迎えて

有 田 繁 広

(有田医院 院長)

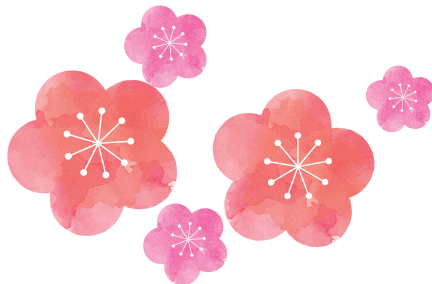
新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたでしょうか。昨年は、激動の年でした。「新型コロナウイルス感染症の影響で・・・」このフレーズが世界中にあふれかえっていました。本来であれば、東京オリンピックで日本国中が「日本がんばれ」になり、各国からの多くの観客が来日され経済効果も莫大なものになっていたはずでした。繁華街は、「ステイホーム」の呼びかけにより閑散とし、まるでゴーストタウンの様相を呈していました。80年前の1940年に予定されていた東京オリンピックは、第2次世界大戦に続いて行く日中戦争の勃発により返上する形で中止になった歴史があります。今回の新型コロナウイルスは、世界を巻き込んだ戦争と言えるかもしれません。幸い、中止ではなく延期となり本年開催予定ですが、有効なワクチンの効果が証明されなければ再延期になる可能性もあります。昨年の秋以降は、発熱外来を行って頂いている診療所が増え、迅速な診断が可能になりました。浪速区でも病院を含め10機関以上のご協力を頂き感謝しております。インフルエンザの流行期と重なる時期において、予防、早期治療に貢献できたと思われます。欧米に比べると日本は、感

者数、死亡者数も少ないと言えますが、やはり特効薬、有効なワクチンの確立が重要な対策になるでしょう。無症状、軽い風邪症状で来院される感染者も数多く存在する中で日常診療を行っている医療従事者におかれましては、十分な感染対策を講じられるようお願いいたします。

大阪は都構想(大阪市廃止)住民投票が行われましたが5年前と同じく僅差で反対票が上回り大阪市は存続することになりました。私個人は、大阪市生まれの大阪市育ちなので、反対票を投じました。ただ、合区に関しては賛成しております。

浪速区は、平成21年より救急時病診連携ツールとしてのブルーカードシステムを構築し8区、17病院に協力病院として参加して頂いています。浪速区のみならず他地区診療所にも参加して頂き、患者さんの急変時の対応に貢献しています。平成28年からは、地域包括ケアシステムにおける多職種連携ツールとして、浪速区役所の協力の元Aケアカード事業を行っております。その利用者(患者さん)の中には他区居住者、浪速区近隣の医療機関、介護事業所が関わっている方が少なくありません。合区になれば、行政を含めてより広げていくことが可能になるのではないかと推察し



ております。システム上、課題は多いのですが情報共有に役立つ A ケアカードを充実させ浪速区だけではなく近隣区へ拡げていくことを望みます。

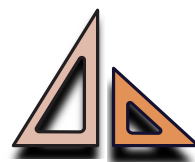
日本の政界では、安倍前首相から菅首相へと継がれました。基本政策は、安倍前首相を継承していくとの事です。新型コロナウイルス感染症対策を軸に、経済状況の向上を主眼として進められるとの事です。が、前述した東京オリンピックの開催可否にかかっているのではないのでしょうか。昨年 4 月以降の多くの補助は、バラマキに近い政策が行われており予算編成は、かなり無理を強いられると予想されます。米国では、トランプ大統領が破れ、新たにバイデン新大統領が就任されることになり少なからず我が国へも影響を受けることになると考えられます。菅首相の外交手腕が試され、国内、国外も含め勝負の年になりそうですね。

浪速区医師会は昨年 4 月からの、自粛、三密を避ける、ソーシャルディスタンスなど自主規制の中、ドライブスルー PCR 検体採取の出務、理事会、学術講演会などの Web 利用、マスク、手袋、防護衣の配布など行ってきました。今年も区民の健康を守るため、また会員にとって有用な医師会として努力を続けていきたいと思ひます。会員の皆様には、各種医師会事業にご協力頂きありがとうございます。いまだに続くコロナ禍の中、ご自身の健康には十分お気をつけられ今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

今年は、「新型コロナウイルス感染症の影響で・・・」のフレーズが出回らない良い年になるよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



理事会報告



◎令和 2 年度 12 月定例理事会

日 時 令和 2 年 12 月 21 日〈金〉

午後 8 時～ 9 時 30 分

場 所 WEB 会議

協議事項

1. A ケアカードシステムに参加している連携団体（歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、浪速区居宅介護支援事業者連絡会、浪速区訪問介護事業者連絡会 合計 81 機関）への浪速区内の新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の委託機関の公表について <有田会長> 標記について協議願ひたい。

協議の結果、了承。委託機関へ意向を伺うことに決定。

2. 会員の会費減免申請について<有田会長> 標記について協議願ひたい。

協議の結果、了承。

3. 文章核戦争防止国際医師会議（IPPNW）大阪府支部「地区世話人」について <有田会長> 地区世話人の推薦依頼があった。任期は、令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までである。

協議の結果、有田会長に決定。

4. 認知症等高齢者支援地域連携事業により作成する医療機関連携ハンドブックについて <藤吉副会長> 標記について協議願ひたい。

今年度は、昨年度より増刷し、多くの医

療関係団体に配付したい。

協議の結果、了承。内容は一部変更し、新しい配付先については検討することとなった。

5. 令和3年度今里休日急病診療所出務医師割当について <原田理事>
資料のとおり、案をまとめた。

協議の結果、了承。

6. 予算委員会の日程について <木田理事>

協議の結果、次のとおり決定。

日時 2月8日<月> 午後8時

場所 浪速区医師会館

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大を注視し、状況によってはWEB開催とする。

7. 税務講習会の開催について <木田理事>
協議の結果、浪速税務署と2月上旬開催(15名以内)で調整する。
ただし、新型コロナウイルス感染症の影響もあるので、開催の有無についても相談することとなった。

8. その他

(1) Aケアカード参加機関に配付するアクリル製の案内板の価格変更について

<久保田副会長>

前回の理事会での決定価格より、カラー部分を増やしたため増額した。

協議の結果、了承。

▷連絡事項

- (1) 結核に係る定期健康診断の実施及び報告書提出の件
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策の件
- (3) 令和2年医師の届出の件
- (4) 毎月勤労統計調査への協力(依頼)の件
- (5) 1月度行事・会合日程の件
- (6) その他

▷協議

▷閉会

(詳細 略)

2. 大阪市医師会連合会委員会について
(12月21日<月>) <有田会長>
次第は次のとおり。

▷連絡事項

- (1) 令和2年度大阪市各種がん検診事業評価調査の件
- (2) 令和2年度大阪市嘱託産業医推薦依頼の件
- (3) 休日・急病診療所に関する今後の対応および出務体制の件
- (4) その他

(詳細 略)

3. 学術講演会について
(11月14日<土>) <徳田副会長>
講演内容は次のとおり。

演題 逆流性食道炎治療に

PPI長期投与は必要か?

～費用対効果の観点も含めて～

講師 大阪府済生会野江病院

消化器内科 部長

羽生 泰樹 先生

出席者数 10名

共催 武田薬品工業株式会社

大塚製薬株式会社

(詳細 略)

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
(12月18日<金>) <有田会長>
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

4. 医師とケアマネジャーの会について
(11月28日<土>) <徳田副会長>
医師とケアマネジャーから集めたアンケート結果に基づいて自由に討論を行った。

出席者は、医師 5 名、地域包括支援センター 3 名、介護支援専門員 24 名
合計 32 名。
(詳細 略)

5. 医療情報委員会について
(12月17日〈木〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷開会
▷報告事項
(1) 令和2年度日本医師会医療情報システム協議会について
(2) 大阪における日本医師会医師資格証発行率推移について
▷協議事項
(1) 第33回医療情報に関する講演会について
(2) 諮問事項について
「医師会活動および医療現場におけるICT活用について
～with コロナ時代の対応を含めて～」
(詳細 略)
6. 医療問題研究委員会について
(11月11日〈水〉) <入野理事>
次の講演に沿って意見交換を行った。
講演「未来医療への期待」
講師 大阪府医師会副会長 澤 芳樹
(詳細 略)
7. その他
なし。
- 次回理事会
令和3年1月18日〈金〉 午後8時～



11 月度 学術講演会報告

日 時 11月14日〈土〉 午後2時～
演 題 逆流性食道炎治療に
PPI長期投与は必要か？
～費用対効果の観点も含めて～
講 師 大阪府済生会野江病院
消化器内科 部長
羽生 泰樹 先生
出席者数 10名
共 催 武田薬品工業株式会社
大塚製薬株式会社
担 当 富永良子

I 胃食道逆流症(GERD)の薬物治療
GERDの薬物治療については、ガイドライン上、プロトンポンプ阻害薬(PPI)が第一選択薬として推奨されている(1)。近年、PPIの長期使用との関連が疑われる有害事象が数多く報告されるようになり、PPI長期使用に対する懸念が生じている。一方、逆流性食道炎(RE)においても、有症時に一定期間の内服を行う間欠療法でコントロールが可能な症例が少なからず存在することも報告されている。

II 薬物治療の考え方
RE治療の目標は自覚症状の除去と食道粘膜傷害の治癒にあり、再発・再燃を繰り返す場合、中長期的には寛解維持が目標となる。REは頻度の高い疾患であり、治療の評価には費用対効果(医療経済的評価)が極めて重要である。

III 薬物治療のエビデンス
REの初期治療について、PPIは他剤より優れた症状改善ならびに食道粘膜傷害の治癒効果が得られることからPPIの8週間投与が第一選択として推奨されている。維持療法においても、PPIは優れた症状寛解維持ならびに食道粘膜傷害の再発抑制効果を示し、REの

維持療法にはPPIを用いることが推奨されている。

Ⅳ 治療薬の安全性

PPIについて、当初より長期間の酸分泌の抑制が生体におよぼす影響について懸念されてきたが、臨床応用されて25年以上が経過し、処方薬としての安全性は極めて高いとされる一方、最近、認知症や脳卒中、慢性腎臓病等との関連を疑う報告が相次いでいる。いずれもPPI投与との直接的な因果関係があきらかにされているものではないが、前向きの検討が困難なものも多く、PPIの長期投与に際しては、今後とも一定の注意が必要と思われる。GERD治療において、PPIを適切に使用することで得られるベネフィットは大きい、上記の点も考慮し、必要に応じた最小限の用法、用量を心がけるべきであろう。

Ⅴ カリウムイオン競合型アシッドブロッカー(P-CAB)

2015年より新たな酸分泌抑制薬としてP-CABであるボノプラザンが承認された。従来のPPIと比較して、酸性環境下で安定であり、より強力な酸分泌抑制能を有し、CYP2C19遺伝子多型の影響を受けにくい等の特徴があるとされる。承認時の第Ⅲ相試験では、PPIであるランソプラゾールとの比較試験が行われ、REの初期治療、維持療法ともに高い治癒率、再発抑制率が報告されている。ボノプラザンでは、早期に高い治癒率が達成可能で、REの標準治療期間は1日20mgで4週間に設定され、効果不十分の場合には8週間まで投与可能である。

Ⅵ 初期治療薬、間欠療法における選択肢としてのボノプラザン

ボノプラザンについて、初期治療および長期治療戦略のうち、間欠療法を行う場合の選択肢として、費用対効果の観点からPPIであるランソプラゾールと比較検討した結果、効果(累積治癒日数)、費用対効果の指標である治癒日数あたりの費用のいずれにおいてもボ

ノプラザンの方が優れていることが明らかとなった。また酸分泌抑制薬の内服日数はボノプラザンの方がより少なかった。(2)

Ⅶ これからの逆流性食道炎治療

P-CABは初期治療薬として、PPIより費用対効果に優れ、治療期間の短縮が可能である。初期治療後については、重症例では維持療法を考慮するが、必要最小量を心掛ける。維持療法薬の基本はPPIである。薬剤の休止が考慮可能な場合、P-CABによる間欠療法はPPIと比較して費用対効果に優れるのみならず、酸分泌抑制期間の短縮が期待可能で、長期間の酸分泌抑制に伴う懸念を考慮すると、その臨床的意義は小さくないものと考えられる。

文献

1. Iwakiri K, Kinoshita Y, Habu Y, et al. J Gastroenterol 2016;51:751-67.
2. Habu Y. Intern Med 2019;58:2427-33.

2月度学術講演会のお知らせ 【WEB講習会】

2月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

今回はWEBでの開催を予定しております。ご参加希望の方は、事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

日時：令和3年2月20日(土)

午後2時～4時

場所：WEB講習会

演題：「不眠・せん妄の薬物療法
～リスクマネジメントの観点から～」

講師：大阪市総合医療センター

精神神経科 医長

粥川 朋哉 先生

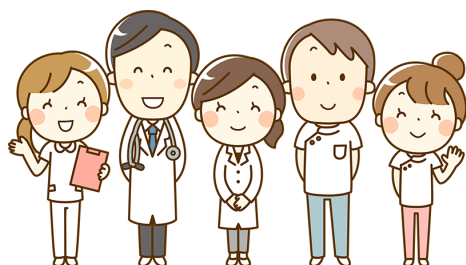
本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっております。

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

12月の相談件数は3件でした。在宅医の希望と介護に関する相談でした。クリスマスから年末年始にかけ市中の人出が多くなっているように思います。新型コロナは、これからが本番になる季節です。皆様くれぐれも密にならないよう一層お気をつけてお過ごしください。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いいたします。



相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R00.0月度）

| | |
|------------------|----|
| ① 医科 | 0件 |
| ② 歯科 | 0件 |
| ③ 薬局・薬剤師 | 0件 |
| ④ 病院 地域連携相談室 | 1件 |
| ⑤ 訪問看護 | 0件 |
| ⑥ 介護支援専門員 | 1件 |
| ⑦ 地域包括支援センター | 0件 |
| ⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所 | 1件 |
| ⑨ 認知症初期集中支援チーム | 0件 |
| ⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室 | 0件 |
| ⑪ 区役所・保健福祉センター | 0件 |
| ⑫ 区民 | 0件 |
| ⑬ その他（ ） | 0件 |
| 合 計 | 3件 |

■ 相談内訳（重複有）

| | | |
|-------------|-------------------|----|
| ① 医 療 | ① 診療所・医師に関して | 0件 |
| | ② 訪問診療できる医療機関に関して | 0件 |
| | ③ 病院（入院・転院先等）に関して | 1件 |
| | ④ 歯科に関して | 0件 |
| | ⑤ 薬局・薬剤師に関して | 0件 |
| | ⑥ 訪問看護に関して | 0件 |
| | ⑦ 医療の手続きに関して | 0件 |
| | ⑧ その他 | 0件 |
| ② 介 護 | ① ケアマネに関して | 1件 |
| | ② 地域包括支援センターに関して | 0件 |
| | ③ 介護事業所等に関して | 0件 |
| | ④ 介護の手続きに関して | 0件 |
| | ⑤ その他 | 2件 |
| | ③ 退院支援に関して | 0件 |
| | ④ 看取りに関して | 0件 |
| | ⑤ その他（内容： ） | 0件 |
| | 合 計 | 4件 |

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058



浪速区医師会 活動の伝言板

令和3年2月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター
2月25日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 橋村 夏野子
眼科 吉野 成泰
耳鼻科 大野 聡史

1歳6ヶ月児健康診査

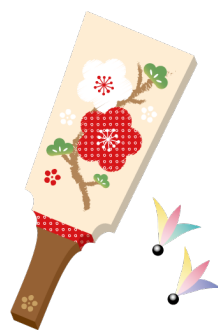
- 保健福祉センター
2月4日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 橋村 夏野子
木村 暢佑

BCG接種

- 保健福祉センター
2月18日(木) 午後2時～3時30分
北村 栄作・橋村 夏野子

急病診療所出務

- 中央急病診療所
2月18日(木) 深夜22:00～30:00
木田 徹
- 今里休日急病診療所
2月7日(日) 10:00～17:00
山崎 雅裕・有田 繁広



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合
Osaka Medical Cooperative Association

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からクリニック開業支援まで、医療に関する幅広いサポートを行っています。

- 医療用品通販カタログ「GoodDs」
- 最新医療機器カタログ「ME GUIDE」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

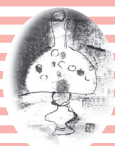
- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー、パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医療とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。万一の事態に備える保険に、団体・集団扱いの割安な掛け金でご加入できます。

- 損害保険
- 生命保険



あとがき

藤吉 理夫

◆新年あけましておめでとうございます。

年始はいつもなら初詣や新年の挨拶に出かけるところ、今年はほぼ皆様お家でのお過ごしだったのではないのでしょうか。1月4日に今里急病診療所に出勤しましたが、コロナ検査をしないこともあってか、ほとんど患者さんはいらっしゃいませんでした。例年ならインフルエンザ150人とかですが、マスク、手洗い、うがい、3密を避ける感染症対策、海外との行き来の減少でインフルエンザは激減しました。今後も個人個人が意識すれば感染症は予防できるということですね。

◆巻頭言で有田会長はコロナ禍において医師会の先生方の協力が欠かせないこと、今後Aケアカードの更なる充実拡大を望むこと。区民の健康を守るため、会員にとって有用な医師会として努力を続けていきたいと仰っています。我々も健康に注意して出来るだけの協力をしていきたいです。

新型コロナウイルス感染症の影響で…のフレーズが出ない年になれば良いですね。

◆浪速区のお正月明けの行事といえはなんととってもえべっさんです。しかし今年はコロナの影響で、露店無しで、福笹も1月中にただけとのことでいつもの盛り上がりはありませんでした。一年を3日で稼ぐえべっさんも補助金申請したいくらいでしょう。

◆一時手に入らなかったマスク、アルコールもようやくすんなり手にできるようになりホッとしています。しかし今後も感染の3波が世界中に広がり再び足りなくなることも予想されますので備蓄が肝心です。ある卸しの話では手袋が入りにくくなる可能性があるとのことでした。

◆最近では普通に行なっているWeb理事会ですが、最初は画面に映る自分がいて、画面越しに相手と話すのがなんとなく照れ臭く感じ

ていました。慣れというのは怖いものです。学会や講演会もWebに慣れてしまって、会場まで行かなくて良いし、パワーポイントはしっかり見れるし、懇親会や、地方の美味しいもののことがなければWebも良いですね。演者の方に聞いた話では、無観客講演は見に来ていただいている方の反応がわからないので非常にやりにくいとのことでした。無観客といえば年末に紅白歌合戦、サザンオールスターズを観ました。どちらも良かったのですが、やはりお客さんがいないとライブ感が乏しく感じました。

◆嬉しい、感動した話も。ラグビー大学選手権で天理大学が早稲田大学を下しました。関西勢が関東勢に勝ったのは36年ぶり、平尾がいた当時の同志社以来とのこと、長かったなあ。一時は3部リーグであったが徐々に上のリーグに上がり、この数年は準決勝、決勝で敗退していた。高校時代は無名の選手達が早稲田から優勝を勝ち取った。去年はコロナ感染で活動休止していた時期があり実戦機会も準備期間も失われるなどさまざまなハンデがあった。よく頑張った！



| 目次 | ページ |
|--------------------------|---------|
| 巻頭言 | |
| 新しい年を迎えて | 有田 繁広 1 |
| 理事会報告(12月開催) | 2 |
| 11月度学術報告 | 富永 良子 4 |
| 2月度学術講演会のお知らせ | 5 |
| 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ | 6 |
| 浪速区医師会活動の伝言板 | 7 |
| あとがき | 8 |

【区医だより】

発行者 有田繁広
編集者 中村泰久 山本大介
印刷所 株式会社 サジ